

区内に残された緑のオアシス・経堂五丁目特別保護区には、季節毎にいろいろな花が咲きます。その花は実になり秋には熟してさまざまに色づきます。これらの実は鳥たちの大好物。さまざまな鳥たちが食べて糞をします。すると糞に入っている種は芽を出し若い植物が育ちます。こうして鳥の休む木の下にはいろいろな植物が生えていきます。園内の植物にはこうして増えたものもあります。今回は園内の木の実・草の実を取り上げます。



▲マンリョウ 熟すと実が赤くなるマンリョウ。実は葉の茂った枝に鈴なりに着きます。冬が近付くと小鳥たちの食べ物が少ないので、赤い実を目当てにやって来て食べていきます。この近所の木に休んだ小鳥たちの糞に含まれる種から小さな木が育ちます。そのため鳥たちの休み場の下にはいろいろな木や草が生えているのです。小鳥たちは植物の運搬役をしているのですね。左上は白い実の株。右下は普通に見られる株の赤い実です。



▲ミカン 庭木として植えられたミカンですが、人が採らないと小鳥たちの冬の間の素敵な食料になります。皮に穴をあけて中身を食べるので、春には皮ばかりになります。



▲ムシアブミ 草の形が馬具に似ているところからこの名が付けました。



▲シラカシ ドングリとして人気の木の実。



▲ヒサカキ 黒い小さな実も小鳥の大好物。



▲左からナギイカダ、ヤマノイモ、イヌホオズキ、ヤブラン 実の熟し具合によって、どれも小鳥たちの貴重な食料になります。秋から冬にはこれらの実や種を探して草むらの中をガサゴソ歩き回る姿がみられます。春になるまでにほとんどが食べられてしまいます。



▲ナンテン 庭木として植えられますが、赤い色が目立つためか、小鳥たちにも人気の実です。



▲ヤツデ 冬に咲くので虫たちにも大切な木です。実は熟すと黒くなります。



▲タマサンゴ オレンジ色の丸い実が人気ですが、小鳥たちも好きな実です。



▲ヤブミョウガ ミョウガのような花実ではなく、黒いつぶつぶの実を付けます。



▲センリョウ オレンジ色の実が枝のてっぺんに付くので庭木にされますが、秋から冬の小鳥たちの貴重な食料になります。

◎園内の植物の多くは庭園用に植えられましたが、今は小鳥の糞から生えたものがたくさん育っています。



▲コクチナシ 小鳥は実の横に穴をあけて中の種を食べます。



▲コムラサキシキブ 庭木として植えられますが実は小鳥に大人気です。